リツキシマブ療法を受ける患者さんへ

患者氏名：　　さん　　担当医師：　　担当看護師：

月日	／	／	
経過	入院日～治療開始まで	リツキシマブ投与日	リツキサン投与1日目
達成目標	◇入院生活や治療について医療スタッフの説明を理解することができる。 ◇疑問があれば質問することができる。	◇リツキシマブによる副作用の症状があるときはすぐに知らせる。 ◇転倒しない。	
治療・処置	身長・体重を測ります。	医師が点滴の針を準備しにうかがいます。	
薬剤	*薬剤師より治療薬の詳しい説明をします。 *持参の薬は一旦お預かりして確認します。看護師へ渡してください。	*お昼前後からリツキシマブの点滴を始めます。その30分前に抗アレルギー剤と解熱鎮痛剤を内服します。 *点滴は少量から始めて、状態を確認しながら少しずつ速度をあげていきます。 *点滴中は心電図モニターを装着します。リツキシマブ開始前、リツキシマブを始めて30分後・1時間後・2時間後、終了時に体温・脈拍・血圧を測定し、異常がないか観察をします。心電図モニターは点滴が終わって1時間後に外します。	
検査	治療のために必要な検査（レントゲン、心電図、心エコー、採血等）を行ないます。		
安静度	制限はありません。 リハビリを受けられている方も通常通り行えます。	点滴中はなるべく安静に過ごしてください。 リハビリを受けられている方はリハビリの時間を調整します。体調に合わせて行いましょう。	制限はありません。体調に合わせてリハビリを行いましょう。
食事	制限はありません。	制限はありません。	制限はありません。
清潔	制限はありません。シャワー室の予約方法を説明しますので当日希望の方は早めにスタッフへお伝えください。	点滴前にシャワー浴ができます。体調に合わせ体を拭くこともできるのでスタッフへお伝えください。	シャワー浴ができます。
排泄		抗がん剤の点滴をして2日間は尿や便などに抗がん剤が残っています。男性の方でもトイレは必ず座ってするようにしましょう。トイレのあとはハンドソープで手をよく洗いましょう。	
注意点 確認事項	*病院内・病棟内・入院生活について説明をします。「入院のご案内」も参考にしてください。 *連絡先など入院時問診票の内容を確認します。 *アレルギーのある方は主治医や看護師へお知らせください。	*初めての治療の場合、リツキシマブの副作用であるアレルギーのような症状（インフュージョンリアクション）が起こる頻度が高いといわれています。咽がイガイガする、体が痒い、息苦しいなど体調の変化を感じたらすぐに看護師へ知らせてください。ナースコールは手の届くところに置きます。 *点滴が漏れた場合、すぐに対応が必要になります。点滴の針を刺しているところが痛くなったり腫れてきたりした時は看護師へ知らせてください。 *その他、点滴中や点滴後にお気付きの症状があれば看護師へ知らせてください。	

※状況に応じて予定が変更になる場合があります。ご不明な点がありましたら、お尋ねください。

本人・家族への説明　　年　　月　　日　　説明者署名：

九州がんセンター　血液内科

2020年2月改訂